

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成24年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	8月末実施の総合防災訓練は行政主導により広域避難所で行うべきだと考えます。	現在のような地域実践型になり7年になります。自主防災会を中心にした訓練により参加者も増え、防災資機材の充実にもつながると考えており、市としてもこの取り組みに様々な支援をしているところです。広域避難所については今年度新たな取り組みとして1月の防災とボランティアの週間に合わせ避難所運営委員会の訓練に取り組むことを考えています。総合防災訓練は市と自治会連合会の共催という位置づけになっていますので、今後もよく調整をし、内容等については検討をしていきたいと考えます。	当日の回答に同じ	防災課
2	東南海地震が想定される地震としては最大級だと聞きましたが、被害想定はしていますか。また市内避難所は、想定している避難者数に対応できるものなのでしょうか。	東南海地震のうち、秦野市に影響があるのは東海地震の部分になり、いつ起きてもおかしくはないという切迫性があります。神奈川県が平成21年度に被害想定を出しており、市内約4,000人の避難者が出るとされています。避難所の収容可能人数は23箇所の広域避難所で、2万1,000人、二次避難所のその他の公共施設で9,000人ほどですので、合計3万人ほどです。東海地震には十分対応できるものと考えています。	当日の回答に同じ	防災課
3	総合防災訓練では、テーマを自分たちで決めるということになっていますが、項目が多すぎて決められなかったりすることもあります。行政側でテーマを決めて集中的にやる、ということも一つの手法だと考えます。	(要望)	現段階では方向性は決まっていますが、平成25年度の自治会連合会の役員会に諮り、方向性を決めていきたいと考えます。	防災課

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
4	震生湖周辺の整備計画の方向性、進捗状況はどのようになっていますか。説明をお願いします。	<p>これまでも観光拠点の一つとして、湖畔への進入路、駐車場、公衆トイレなどの施設整備を行ってまいりました。また、ハイキングコース上の所在する農地などの地権者の方の協力により、菜の花の栽培など景観の向上を図ってまいりました。震生湖の体系的、総合的な整備の取り組みについては、対象地の多くが民有地であるということもあり、中々進捗しない状況が続いています。</p> <p>このような状況であるものの、震生湖は関東大震災が生い立ちであるという文化財的な価値を工夫しながら、周辺の里地里山環境を生かした整備をしたいと考えています。</p> <p>今後も地権者や隣接する中井町との調整を図るなど取り組まねばならない諸課題がありますので、皆さんの意見を聞きながら、できることから着実に整備をしていきたいと考えます。</p>	<p>地域住民の後押しを得ながら、震生湖周辺の将来像を考えていくため、地域ボランティアの協力を得ながら里山整備を進めたり、地元農家の皆さんと花のある景観づくりを進めることで、将来的な方向性として震生湖周辺の観光振興策の姿が見えてくると考えています。</p> <p>さらに、地権者や隣接する中井町との調整など、取り組まなければならない諸課題もあるため、慎重かつ丁寧に対応をしながら進めていかねばなりません。震生湖周辺の環境が着実に良くなる方策を進めながら、関係者の機運を高め、震生湖周辺の観光振興に取り組んでいきます。</p>	商工観光課
5	震生湖周辺のハイキングコースが荒廃している箇所が見受けられます。整備はできないでしょうか。	<p>ハイキングコースについては、地権者との関係もありますので、現状を確認し、調整をしながら、できるところは取り組んでいきたいと考えます。</p>	<p>平成25年2月に指摘のあった渋沢丘陵ハイキングコースの路面補修を実施しました。</p>	商工観光課
6	震生湖周辺の堆肥施設の臭気問題について、市はどのような対応をとっているのでしょうか。臭気の数値調査についても時間や場所を限定せず、年間を通じ広範囲で長時間の測定を希望します。また、今後の対応のためにも事業者、測定業者、住民、市の4者での協議会の設置を要望します。	<p>臭気問題については以前から改善要望をいただいております。臭気を根本的にゼロにすることはできませんが、県や事業者と話し合い、様々な取り組みをしてきました。その後、8月に2日間に渡り4回臭気指数の測定を行ったところ、ほぼ基準値に近い数字になっていました。しかし、この数値が良かったからといってこの問題が解決したとは考えていません。今後も継続して取り組んでいこうと考えておりますので、今回のご意見についても検討させていただきます。</p>	<p>臭気問題については、県や事業者と協議を重ね様々な対策を実施してきました。臭気をゼロにすることはできませんが、今後も継続して臭気対策に取り組んでいきます。</p> <p>また、臭気対策の協議会の件につきましては、関係者等の努力もあり、以前よりも臭気改善が図られている現状から、現時点では協議会の設置は考えていません。</p>	農産課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成24年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
7	<p>秦野駅南部土地区画整理事業について、農地の部分は12月に組合の設立総会が行われます。しかし、残った部分については都市計画道路の整備が進んでおらず、整理計画の手法が見えてきません。市街地形成の基本は道路であると考えますが、今後どのように事業は進んでいくのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通り、都市計画道路尾尻諏訪線が区画整理の区域になっておりますが、この整備手法について検討をしているところです。今後進んでいく農地の区域の区画整理事業を起爆剤として、都市計画道路を含めた区画整理事業が事業化できるよう検討し、地域の皆様へ説明を随時行ってまいります。</p>	<p>都市計画道路沿道区域については、市施行による事業化を検討中であり、今年度中には地元の方針を提示します。来年度以降事業化に向け地元との合意形成を図っていきます。</p>	<p>まちづくり推進課</p>
8	<p>地域を支える主な事業ということで、資料がありますが、もっと具体的な年次計画、それから地域の問題への解析が必要だと考えます。予算も限られていると思いますので、問題を解析し、優先順位を付けて取り組んでほしいと思います。</p>	<p>(要望)</p>	<p>要望として受け止めます。</p>	<p>企画課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成24年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
9	環境問題、省エネへの取り組みはまず学校教育において行われるべきだと考えます。	(要望)	秦野市の幼稚園、こども園、保育園、小中学校では「エコキッズはだの」として、ISO14001の考え方を取り入れた環境への取組みを進めています。ISO14001は厳しい要求事項が規定されているものですが、「エコキッズはだの」では対象が幼児、児童、生徒であることから、環境マネジメントシステム実施における缶リサイクルであるPDCAサイクル、(PLAN、DO、CHECK、ACT)の概念を盛り込み、活動を一過性のものでなく継続的なものとして、自ら積極的に環境活動を推進し、地球環境対策を行動に移せる意識の高い子どもたちを育むことを目的として、各園校の地域性を生かした環境活動を進めています。	教育研究所
10	市政にもっと民間の力を導入していく必要があると考えます。	市としても「民間でできることは民間に」、という考えです。全てのサービスを行政が担うのではなく、地域や民間でできることは担っていただけるよう進めています。	新はだの行革推進プランに「民間委託等の推進」や「市民等との協働・連携の推進」を掲げ、民間企業等が有するノウハウを生かしたサービスの提供や市民・NPO等と協働連携した事業を推進しています。	行政経営課
11	市長への手紙に対する回答の責任の所在はどこにあるのでしょうか。	市長への手紙は市長が拝見した後、回答はそれぞれ内容に該当する事務担当部署が責任を持って作成しております。	当日の回答と同じ	広聴相談課
12	新東名高速道路と国道246バイパスは市としては積極的に導入していくという姿勢でしょうか。	この道路ができることによる本市への産業、観光への影響ははかり知れないものがありますので、基本的にはこの計画を進めていただくよう要望をしております。	当日の回答と同じ	国県事業推進課
13	生活保護受給者の粗大ゴミの戸別回収の手数料が有料になりました。生活弱者救済の観点から無料に戻すことはできないでしょうか。	(要望)	粗大ごみの戸別収集手数料の減免措置につきましては、ごみの処理費用などの経常的な経費は生活保護費に組み込まれていること、一般世帯との経済的格差は縮小している、などの理由から、平成23年6月をもって減免措置を廃止したものです。	生活福祉課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成24年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
14	<p>ごみ処理事業者として活動しています。5年ほど前から収集車の天然ガス車の導入について依頼があり、その意義に賛同し協力してきました。近年、ガソリン車がまた多くなってきたような気がします。クリーンエネルギーを重視した取り組みをお願いします。</p>	<p>当時はディーゼルに対し、環境負荷が少ない天然ガスを推進してきました。その後、ディーゼルもクリーン化が進み、ガソリンエンジンも性能が上がってきました。このような技術革新が進む中、天然ガスについても他の再生可能エネルギーも含め、クリーンエネルギーの啓発に取り組んでいきたいと考えます。</p>	<p>自動車については、より二酸化炭素の排出量が少ない車両の普及が求められており、現在では技術革新が進み、電気自動車やハイブリッド自動車など、環境負荷の少ない様々な低公害車が登場し、また、新たな低公害車が開発されていることから、今後も多種多様な低公害車の普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>環境保全課</p>